

iPhone の活用(6) —カートリッジの負荷調整(3)—

1. はじめに

前報(5)に引き続き **Ortfon** 系以外のカートリッジ について実施します。

2. カートリッジの負荷インピーダンスの調整の方法

今回使用したカートリッジは次のものです。

FR FR1 Mk3 (針圧 2.5g) 写真①

FR FR7 (針圧 2g) 写真②

DENON DL-103 (針圧 2.5g) 写真③



FR1 Mk3 (写真①) は負荷インピーダンス 10Ω 、**FR7** (写真②) は負荷インピーダンス 3Ω 、**DL-103** (写真③) はインピーダンス 40Ω とあったので、これらの数値を参考に負荷インピーダンスを設定し、前報(6)同様、**SPU Synergy** (針圧 3.5g) をリファレンスとして聴きこんでいきました。

なお、ターンテーブルは **LP12**、アームは **FR64S** でフォノケーブルは **LINN** のケーブル、iPhone からの引き出しにはリベラメンテを使用しています。

3. カートリッジの負荷の調整の試聴結果

FR1 Mk3 では負荷 22Ω で違和感なく動作しました。少しゲインが低いので +6dB アップしました。記憶にある **FR1 Mk3** らしい力強く押し出し感のある音がして **Ortofon** 系や **EMT** のカートリッジとはまた別の流れの音です。

一方、**FR7** と **DL-103** は長年使用していなかったもので、断線か接触不良か理由は分かりませんが、音が出ませんでした。

4. まとめ

FR1 Mk3 について負荷インピーダンスの調整ができました。

以上